



闘春

新年あけましておめでとうございます。謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

今年の2月17日でバス関東労組は、結成2年を迎えます。改めて2年間の道のりを振り返ると、長く厳しいながらも、仲間と家族の結束が強まる「楽しい2年間」であり、また結成直後から、私たちの業界は新型コロナウイルス感染拡大による社会的影響を大きく受け、従来の様な取り組みでは上手くいかず、新たな試みに試行錯誤した「未曾有の2年間」でもありました。

さて、私たちは3年目のバス関東労組運動をスタートさせますが、昨年は各機関をはじめとした、組合員と家族のご支援・ご協力のもと、バス関東労組運動を大きく前進させることができました。昨年9月に東京都労働委員会から「ジェイアールバス関東不当労働行為事件」の完全勝利命令を勝ち取り、「土浦支店臨時雇用員雇止め事件」は8月に訴訟手続きに移行し、11月に第一回期日を迎えました。両事件は共に新たなステージへと進みますが、全組合員で連帯し、支えていきましょう。

今年はこちらのたたかいに加え、アフターコロナを見据えた会社の業務量をしっかりと精査し、組合員が納得して安全に施策を担えるよう、営業施策と向き合い、業務課題の解決を求め、労働条件向上を運動の大きな柱とします。また、これから始まる2022年春のたたかいでは、「定期昇給2分の1」、「過去最低額となった各期末手当」を振り返り、大幅に引き下げられた私たちの賃金をこれ以上悪化させないためにも、正々堂々と私たち労働者の権利を主張し、賃金の本質に迫り風穴を開けていきましょう。コロナ禍で厳しい寒さのなか年末年始輸送が続きますが、組合員の皆様におかれましても引き続き「安全」と「健康」を第一に、「働きがい」のある職場を創造し、エッセンシャルワーカーとしての社会的使命と責務を果たしていきましょう。本年も宜しく願います。

2022年

元旦

ジェイアールバス関東労働組合